

「健康日本21あいち新計画」目標・指標一覧表

A: 目標を達成、B: 策定時より改善、C: 変化なし、D: 悪化、-: 判定保留

分野	項目	指標	策定時の状況		目標値	平成28年(直近値)	進捗時点評価	平成28年
			データソース		目標年次	データソース	ABCD-	取組状況
基本目標	ア 健康長寿あいちの実現	健康寿命の延伸	健康寿命(愛知県分)の延伸	男性 71.74年(全国1位) 女性 74.93年(全国3位)	男性 75年以上 女性 80年以上	男性 71.65年 女性 74.65年	D	○「健康日本21あいち新計画」に基づく、疾病予防と健康増進、介護予防などによる総合的な健康づくり対策の推進 ○あいち健康マイレージ事業の推進 ○「健康づくりチャレンジ推進事業」による食と運動に関する効果的な啓発を関係機関・関係団体等と連携し実施
				平成22年厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」	平成34年度	平成25年暫定値 (平成27年12月公表)		
基本方針:(1)	ア 生涯を通じた健康的な生活習慣	健康な生活習慣を送っている人の割合の増加	健康的な生活習慣を送っていると思う者の割合の増加(65歳以上)	63.6%	80%以上	-	-	○「健康日本21あいち新計画」に基づく、疾病予防と健康増進、介護予防などによる総合的な健康づくり対策の推進 ○あいち健康マイレージ事業の推進 ○「あいち健康ナビ」による疾病や健康づくりの正しい知識の普及啓発と健康づくりイベント等の情報発信
				平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中		
基本方針:(2)-①がん	ア 年齢調整死亡率	がんの年齢調整死亡率の減少	75歳未満の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)-男女	男性 107.1 女性 61.3	男性 95.6以下 女性 52.6以下	男性 96.2 女性 58.9	B	○「愛知県がん対策推進計画(第2期)」に基づく、がん予防及びがんの早期発見を始めとするがん対策事業の推進
				平成22年厚生労働省「人口動態統計」(愛知県分)	平成29年度 (愛知県がん対策推進計画に同じ)	平成26年厚生労働省「人口動態統計」(愛知県分)		
	イ がんの早期発見	がん検診の受診率の向上	胃がん検診(40~69歳) 肺がん検診(40~69歳) 大腸がん検診(40~69歳) 子宮がん検診(20~69歳) 乳がん検診(40~69歳)	胃がん検診 14.7% 肺がん検診 23.8% 大腸がん検診 20.0% 子宮がん検診 38.2% 乳がん検診 31.1%	胃がん検診 40.0%以上 肺がん検診 40.0%以上 大腸がん検診 40.0%以上 子宮がん検診 50.0%以上 乳がん検診 50.0%以上	胃がん検診 14.6% 肺がん検診 24.3% 大腸がん検診 24.5% 子宮がん検診 40.3% 乳がん検診 30.6%	胃がん検診: D 肺がん検診: B 大腸がん検診: B 子宮がん検診: B 乳がん検診: D	○がん対策部会(精度管理委員会)の開催による市町村がん検診の精度管理 ○がん検診従事者講習会の開催 ○がん検診普及啓発事業 ○女性に特有のがん対策推進事業 ○働く世代のがん検診受診促進事業
ウ がん検診の充実	市町村におけるがん検診の推進	がん検診の受診率の向上に取り組み、その効果判定を行っている市町村数の増加	12市町村	54市町村 (全市町村)	37市町村	B	○がん対策部会(精度管理委員会)の開催による市町村がん検診の精度管理 ○がん検診従事者講習会の開催 ○がん検診普及啓発事業	
基本方針:(2)-②循環器疾患	ア 年齢調整死亡率	①脳血管疾患の年齢調整死亡率	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性 47.1 女性 26.9	男性 38.0以下 女性 24.0以下	男性 41.1 女性 25.3	B	○地域健康課題分析評価事業(特定健診等データ分析・評価)結果の還元 ○特定健康診査等指導者養成による健診従事者の資質向上 ○第2期愛知県医療費適正化計画に位置づけた県民の健康の保持の推進に資する施策を推進。
				平成22年厚生労働省「人口動態統計」(愛知県分)	平成34年度	平成24年厚生労働省「人口動態統計」(愛知県分)		
	イ 循環器疾患の危険因子の低減	① 高血圧の改善	収縮期血圧の平均値の低下(40~74歳、服薬者含む)-男女	男性 127mmHg 女性 123mmHg	男性 123mmHg以下 女性 119mmHg以下	-	-	○地域健康課題分析評価事業(特定健診等データ分析・評価)結果の還元 ○特定健康診査等指導者養成による健診従事者の資質向上 ○第2期愛知県医療費適正化計画に位置づけた県民の健康の保持の推進に資する施策を推進。
				平成22年度厚労省「都道府県における医療費適正化計画の策定に係る参考データ」(愛知県分)	平成34年度	公表時期未定		
	② 脂質異常症の減少	中性脂肪150mg/dl以上の者の割合の減少(40~74歳、服用者含む)-男女	男性 30.3% 女性 15.0%	男性 23.0%以下 女性 119mmHg以下	-	-	○地域健康課題分析評価事業(特定健診等データ分析・評価)結果の還元 ○特定健康診査等指導者養成による健診従事者の資質向上 ○第2期愛知県医療費適正化計画に位置づけた県民の健康の保持の推進に資する施策を推進。	
			平成22年度厚労省「都道府県における医療費適正化計画の策定に係る参考データ」(愛知県分)	平成34年度	公表時期未定			

「健康日本21あいち新計画」目標・指標一覧表

A: 目標を達成、B: 策定時より改善、C: 変化なし、D: 悪化、-: 判定保留

分野	項目	指標	策定時の状況	目標値	平成28年(直近値)	進捗時点評価	平成28年		
			データソース	目標年次	データソース	ABCD-	取組状況		
基本方針: (2)-②循環器疾患	イ 循環器疾患の危険因子の低減	② 脂質異常症の減少	LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合の減少(40~74歳、服用者含む) -男女	男性 30.3% 女性 15.0%	男性 23.0%以下 女性 119mmHg以下	-	-	○地域健康課題分析評価事業(特定健診等データ分析・評価)結果の還元 ○特定健康診査等指導者養成による健診従事者の資質向上 ○第2期愛知県医療費適正化計画に位置づけた県民の健康の保持の推進に資する施策を推進。	
		③ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少(40~74歳)	約801,700人	(20年度と比べて) 25.0%以上減少	(20年度と比べて) 2.7%減少	B	○「特定健康診査・特定保健指導普及月間」(6月)を中心とした普及啓発キャンペーン ○第2期愛知県医療費適正化計画に位置づけた県民の健康の保持の推進に資する施策を推進。	
	ウ 循環器疾患の危険因子の早期発見	特定健康診査の実施率の向上	特定健康診査の実施率の向上	45.9%	70.0%以上	50.4%	B	○「特定健康診査・特定保健指導普及月間」(6月)を中心とした普及啓発キャンペーン ○第2期愛知県医療費適正化計画に位置づけた県民の健康の保持の推進に資する施策を推進。	
		特定保健指導の実施率の向上	特定保健指導の実施率の向上	11.4%	45.0%以上	19.1%	B	○「特定健康診査・特定保健指導普及月間」(6月)を中心とした普及啓発キャンペーン ○第2期愛知県医療費適正化計画に位置づけた県民の健康の保持の推進に資する施策を推進。	
	エ セルフケアとセルフチェック	家庭で血圧測定している者の増加	定期的に家庭で血圧を測定している者の割合の増加(65歳以上)	64.0%	64.0%以上	-	-	○「特定健康診査・特定保健指導普及月間」(6月)を中心とした普及啓発キャンペーン	
	オ 循環器疾患の危険因子の早期発見体制の充実	市町村における特定健康診査・特定保健指導の充実	特定健診実施率の向上のための取組と、その効果判定を行っている市町村の増加	11市町村	54市町村(全市町村)	32市町村	B	○地域健康課題分析評価事業(特定健診等データ分析・評価)結果の還元 ○特定健康診査等指導者養成による健診従事者の資質向上	
				平成24年愛知県「市町村実態調査」	平成34年度	平成28年度愛知県「市町村実態調査」			
	基本方針: (2)-③糖尿病	ア 糖尿病腎症による人工透析患者	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者の減少	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少(人口10万当たり)	12.2	11.0以下	11.8	B	○基幹保健所等による圏域健康づくり推進特別事業の実施 ○CKD(慢性腎疾患)の予防啓発キャンペーン事業の推進
		イ 糖尿病の増加の抑制と重症化予防	①糖尿病有病者割合の減少	糖尿病有病者の割合(HbA1c)(NGSP値)6.5%以上の減少(40~74歳)-男女、全体-	男性 9.5% 女性 5.6% 全体 7.7%	男性 7.0%以下 女性 4.0%以下 全体 6.0%以下	-	-	○地域健康課題分析評価事業(特定健診等データ分析・評価)結果の還元 ○特定健康診査等指導者養成、糖尿病指導者養成事業による健診従事者の資質向上
					平成22年度厚労省「都道府県における医療費適正化計画の策定に係る参考データ」(愛知県分)	平成34年度	公表時期未定		
②治療継続者の増加			治療継続者(HbA1c)(NGSP値)6.5%以上の者のうち、治療中の者の割合の増加(40~74歳)-男女、全体-	48.0%	75.0%以上	-	-	○地域健康課題分析評価事業(特定健診等データ分析・評価)結果の還元 ○特定健康診査等指導者養成、糖尿病指導者養成事業による健診従事者の資質向上	
			平成22年度厚労省「都道府県における医療費適正化計画の策定に係る参考データ」(愛知県分)	平成34年度	公表時期未定				

「健康日本21あいち新計画」目標・指標一覧表

平成28年12月末現在

A: 目標を達成、B: 策定時より改善、C: 変化なし、D: 悪化、-: 判定保留

分野	項目	指標	策定時の状況	目標値	平成28年(直近値)	進捗時点評価	平成28年	
			データソース	目標年次	データソース	ABCD-	取組状況	
基本方針: (2)-③糖尿病	イ 糖尿病の増加の抑制と重症化予防	③ 血糖コントロール指標における不良者の減少	1.2%	1.0%以下	-	-	○地域健康課題分析評価事業(特定健診等データ分析・評価)結果の還元 ○特定健康診査等指導者養成、糖尿病指導者養成事業による健診従事者の資質向上	
			平成22年度厚労省「都道府県における医療費適正化計画の策定に係る参考データ」(愛知県分)	平成34年度	公表時期未定			
		④ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少【再掲】	約801,700人	(20年度と比べて)25.0%以上減少	(20年度と比べて)2.7%減少	B(再掲)		○「特定健康診査・特定保健指導普及月間」(6月)を中心とした普及啓発キャンペーン ○第2期愛知県医療費適正化計画に位置づけた県民の健康の保持の推進に資する施策を推進。
			平成20年度厚労省「レセプト情報・特定健康診査等データベース」(愛知県分)	平成29年度(愛知県医療費適正化計画に同じ)	平成26年度厚労省「レセプト情報・特定健康診査等データベース」(愛知県分)			
	ウ 糖尿病患者の早期発見	特定健康診査の実施率の向上	特定健康診査の実施率の向上	45.9%	70.0%以上	50.4%	B(再掲)	○「特定健康診査・特定保健指導普及月間」(6月)を中心とした普及啓発キャンペーン ○第2期愛知県医療費適正化計画に位置づけた県民の健康の保持の推進に資する施策を推進。
				平成22年度厚労省「レセプト情報・特定健康診査等データベース」(愛知県分)	平成29年度(愛知県医療費適正化計画に同じ)	平成26年度厚労省「レセプト情報・特定健康診査等データベース」(愛知県分)		
	エ 糖尿病患者の早期発見体制の充実	特定保健指導の実施率の向上	特定保健指導の実施率の向上	11.4%	45.0%以上	19.1%	B(再掲)	○「特定健康診査・特定保健指導普及月間」(6月)を中心とした普及啓発キャンペーン ○第2期愛知県医療費適正化計画に位置づけた県民の健康の保持の推進に資する施策を推進。
				平成22年度厚労省「レセプト情報・特定健康診査等データベース」(愛知県分)	平成29年度(愛知県医療費適正化計画に同じ)	平成26年度厚労省「レセプト情報・特定健康診査等データベース」(愛知県分)		
	オ 医療機関における糖尿病指導体制の充実	市町村における特定健康診査・特定保健指導の充実	特定健診実施率の向上に向けた取組と効果判定を行っている市町村の増加	14市町村	54市町村(全市町村)	35市町村	B(再掲)	○地域健康課題分析評価事業(特定健診等データ分析・評価)結果の還元 ○特定健康診査等指導者養成による健診従事者の資質向上
				平成24年愛知県「市町村実態調査」	平成34年度	平成28年度愛知県「市町村実態調査」		
オ 医療機関における糖尿病指導体制の充実	医療機関における糖尿病患者教育の充実	糖尿病患者教育を実施している医療機関数の増加	213件	213件以上	-	-		
			平成23年「医療機関実態調査」	平成34年度	「医療機関実態調査」は平成24年以降未実施			
基本方針: (2)-④COPD	ア COPDの早期発見	COPD発見率の向上	問診票等を導入している医療保険者数の増加	3.2%	80.0%以上	-	-	○「COPDの認知度向上のための後援会」の開催による普及啓発。 ○特定健診・特定保健指導指導者養成研修での「COPD-PS質問票」の普及啓発
	イ COPDの認知度	COPD認知度の向上	COPDの認知度	平成24年度健康対策課調べ	平成34年度	平成29年度健康対策課調査予定		
				39.2%	80.0%以上	-	-	
	ウ COPDの普及啓発	COPDの普及啓発の推進	COPDの普及啓発のための取組を行っている市町村数の増加	平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中		
14市町村				54市町村(全市町村)	34市町村	B	○「COPDの認知度向上のための後援会」の開催による普及啓発。 ○圏域健康づくり推進特別事業等による地域のCOPD対策の推進	
エ 病院・診療所の連携の推進	病院・診療所の連携の推進	クリティカルパスを活用した病院・診療所の連携施設数の増加	今後把握予定	今後設定予定	-	-		
			平成24年愛知県「市町村実態調査」	平成34年度	平成28年度愛知県「市町村実態調査」			
エ 病院・診療所の連携の推進	病院・診療所の連携の推進	クリティカルパスを活用した病院・診療所の連携施設数の増加	今後把握予定	今後設定予定	-	-		
			今後把握予定	今後設定予定	-			平成29年度健康対策課調査予定

「健康日本21あいち新計画」目標・指標一覧表

平成28年12月末現在

A: 目標を達成、B: 策定時より改善、C: 変化なし、D: 悪化、-: 判定保留

分野	項目	指標	策定時の状況	目標値	平成28年(直近値)	進捗時点評価	平成28年	
			データソース	目標年次	データソース	ABCD-	取組状況	
基本方針: (2)-⑤歯科疾患	ア 口腔機能の維持	①咀嚼良好者の増加	80歳(75歳~84歳)の咀嚼良好者の割合の増加	54.2%	70.0%以上	-	-	○健全な歯・口を生涯にわたり維持するための総合的な歯科口腔保健対策を推進
				平成21年厚労省「国民健康・栄養調査」(愛知県分)	平成34年度	厚労省「国民健康・栄養調査」(愛知県分)		
		②8020(ハチマルニイマル)達成者の増加	80歳(75歳~84歳)で自分の歯20本以上有する者の割合の増加	40.7%	50.0%以上	-	-	○健全な歯・口を生涯にわたり維持するための総合的な歯科口腔保健対策を推進
				平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中		
	イ う蝕の減少	う蝕のない者の増加	3歳児のう蝕のない者の割合の増加	86.3%	95.0%以上	88.8%	B	○乳幼児期における歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発 ○フッ化物応用を始めとした乳歯から永久歯までの一貫したう蝕対策の推進
					平成23年度愛知県「乳幼児健康診査」	平成34年度	平成27年度愛知県「乳幼児健康診査情報」	
			12歳児のう蝕のない者の割合の増加	67.6%	77.0%以上	75.1%	B	○学齢期における歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発 ○フッ化物応用を始めとした乳歯から永久歯までの一貫したう蝕対策の推進
				平成23年度愛知県「地域歯科保健業務状況報告」	平成34年度	平成27年度愛知県「地域歯科保健業務状況報告」		
	ウ 歯周病の減少	歯周疾患を有する人の減少	歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少(14歳)	10.5%	5.0%以下	7.7%	B	○学齢期における歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発 ○市町村や職域における歯周病対策の推進と適正な歯科医療の提供のための環境整備
					平成23年文科省「学校保健統計調査」	平成34年度	平成27年文科省「学校保健統計調査」(愛知県分)	
		歯周炎を有する者の割合の減少(40歳)	27.4%	20.0%以下	32.6%	D	○成人期における歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発 ○市町村や職域における歯周病対策の推進と適正な歯科医療の提供のための環境整備	
			平成23年度愛知県「歯周疾患検診実施状況報告」	平成34年度	平成27年度愛知県「歯周疾患検診実施状況報告」			
基本方針: (3)-①栄養・食生活	ア 適正体重(18.5≤BMI<25)の維持	①肥満者の減少	20~60歳代男性の肥満者(BMI25以上)の割合の減少	24.2%	21.0%	-	-	○国民・健康栄養調査による食生活の実態把握 ○栄養改善指導事業の実施(個別指導・集団指導・市町村支援) ○特定保健指導を中心としたメタボリックシンドローム対策の推進
					平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中	
			40~60歳代女性の肥満者(BMI25以上)の割合の減少	13.3%	10.0%以下	-	-	○国民・健康栄養調査による食生活の実態把握 ○栄養改善指導事業の実施(個別指導・集団指導・市町村支援) ○特定保健指導を中心としたメタボリックシンドローム対策の推進
				平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中		
		②肥満傾向にある子どもの減少	小学5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合-男女	男子 3.2% 女子 1.4%	男子 3.2%以下 女子 1.4%以下	男子 4.9% 女子 2.8%	D	○学童期から思春期の生活習慣病予防研修(肥満・糖尿病を中心に)による指導者の養成事業の推進
				平成23年文科省「学校保健統計調査」(愛知県分)	平成34年度	平成27年文科省「学校保健統計調査」(愛知県分)		
	③女性のやせの者の減少	20~30歳代女性のやせの者の割合の減少(BMI18.5未満)	21.7%	15.0%以下	-	-		
			平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中			

「健康日本21あいち新計画」目標・指標一覧表

平成28年12月末現在

A: 目標を達成、B: 策定時より改善、C: 変化なし、D: 悪化、-: 判定保留

分野	項目	指標	策定時の状況	目標値	平成28年(直近値)	進捗時点評価	平成28年	
			データソース	目標年次	データソース	ABCD-	取組状況	
基本方針: (3)-① 栄養・食生活	ア 適正体重(18.5≦BMI<25)の維持	④全出生数中の低出生体重児の減少	全出生数中の低出生体重児の割合の減少	9.6% 平成23年厚生労働省「人口動態統計」(愛知県分)	9.6%以下 平成34年度	9.8% 平成27年厚生労働省「人口動態統計」(愛知県分)	D	○妊娠前・妊娠期の心身の健康づくりに関する教育・啓発の充実
		⑤低栄養傾向高齢者の割合の増加の抑制	低栄養傾向高齢者の割合の増加の抑制(BMI20以下)	19.9% 平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	19.9%以下 平成34年度	- 平成28年度調査中	-	○介護予防プログラム「愛知県版栄養改善プログラム」の普及啓発
	イ 適切な量と質の食事の摂取	①主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の増加	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	62.1% 平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	80.0%以上 平成34年度	- 平成28年度調査中	-	○食育推進協力店における普及啓発
		②朝食を欠食する者の減少	朝食を欠食する者の割合減少(3歳児)	5.7% 平成23年度愛知県「乳幼児健康診査」	0% 平成34年度	5.5% 平成27年度愛知県「乳幼児健康診査情報」	B	○母子保健事業を通じた教育・啓発の充実
		②朝食を欠食する者の減少	朝食を欠食する者の割合減少(16~19歳)	8.0% 平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	5.0%以下 平成27年度「あいち食育いきいきプラン2015」に同じ	- 平成28年度調査中	-	○食育推進協力店における普及啓発
		③食塩の摂取量の減少	1日当たりの食塩摂取量の減少	10.6g 平成20~23年厚生労働省「国民健康・栄養調査」(愛知県分)	8g未満 平成34年度	9.8g 平成24~27年厚生労働省「国民健康・栄養調査」(愛知県分)	B	○食育推進協力店における普及啓発
		④野菜の摂取量の増加	1日当たりの野菜摂取量の増加	273g 平成20~23年厚生労働省「国民健康・栄養調査」(愛知県分)	350g以上 平成34年度	267g 平成24~27年厚生労働省「国民健康・栄養調査」(愛知県分)	D	○6月の食育月間において野菜の摂取量の増加啓発ポスター及びリーフレットの配布など普及啓発 ○食育推進協力店における普及啓発
		⑤果物の摂取量の増加	1日当たりの果物摂取量100g未満の者の割合の減少	55.6% 平成20~23年厚生労働省「国民健康・栄養調査」(愛知県分)	30.0%以下 平成34年度	55.5% 平成24~27年厚生労働省「国民健康・栄養調査」(愛知県分)	B	○6月の食育月間において野菜の摂取量の増加啓発ポスター及びリーフレットの配布など普及啓発 ○食育推進協力店における普及啓発
		ウ 適正体重の自己管理	適正体重を認識し、定期的に体重測定している者の増加	適正体重を認識し、定期的に体重測定している者の割合の増加	73.4% 平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	80.0%以上 平成34年度	- 平成28年度調査中	-
	エ 食生活改善のための人材育成	①食生活改善のためのボランティア数の増加	食生活改善推進員の養成数の増加	8,651人 平成23年愛知県「市町村報告」	12,000人以上 平成34年度	9,727人 平成28年愛知県「市町村報告」	B	

「健康日本21あいち新計画」目標・指標一覧表

A: 目標を達成、B: 策定時より改善、C: 変化なし、D: 悪化、-: 判定保留

分野	項目	指標	策定時の状況	目標値	平成28年(直近値)	進捗時点評価	平成28年
			データソース	目標年次	データソース	ABCD-	取組状況
基本方針: (3)-① 栄養・食生活	②食生活改善のためのボランティアを養成・活用している市町村数の増加	食生活改善のためのボランティアを養成・活用が十分できている市町村数の増加	32市町村	54市町村(全市町村)	41市町村	B	
			平成24年愛知県「市町村実態調査」	平成34年度	平成28年愛知県「市町村実態調査」		
オ 食に関する情報へのアクセスの整備	食育推進協力店の増加	食育推進協力店登録数の増加	2,332件	3,300件以上	2,828件	B	
			平成24年3月末愛知県食育推進協力店登録数	平成34年度	平成28年3月末愛知県食育推進協力店登録数		○食育推進協力店の登録推進
ア 活発な身体活動と運動	①日常生活における歩数の増加	1日の歩数(20~64歳)ー男女	男性 8,012歩 女性 7,224歩	男性 9,500歩以上 女性 8,500歩以上	男性 8,610歩 女性 7,015歩	B	○健康づくりのための身体活動指針(アクティブガイド)の普及と活用の促進 ○ヘルシーネットによる健康の道(ウォーキングコース)の紹介 ○あいち健康マイレージ事業の推進
		1日の歩数(65歳以上)ー男女	男性 5,563歩 女性 4,387歩	男性 7,000歩以上 女性 6,000歩以上	男性 6,991歩 女性 6,053歩	B	○健康づくりのための身体活動指針(アクティブガイド)の普及と活用の促進 ○ヘルシーネットによる健康の道(ウォーキングコース)の紹介 ○あいち健康マイレージ事業の推進
	②運動習慣者の増加	運動習慣者の割合の増加(20~64歳)ー男女	男性 24.9% 女性 20.4%	男性 31.0%以上 女性 27.0%以上	-	-	○健康づくりのための身体活動指針(アクティブガイド)の普及と活用の促進 ○ヘルシーネットによる健康の道(ウォーキングコース)の紹介
		運動習慣者の割合の増加(65歳以上)ー男女	男性 46.8% 女性 43.4%	男性 56.0%以上 女性 54.0%以上	-	-	○健康づくりのための身体活動指針(アクティブガイド)の普及と活用の促進 ○ヘルシーネットによる健康の道(ウォーキングコース)の紹介 ○あいち健康マイレージ事業の推進
イ 身体活動量のセルフチェック	日頃、歩数計をつけている者の増加	日頃、歩数計をつけている者の割合の増加	24.2%	40.0%以上	-	-	○健康教育・啓発リーフレット等による歩数計を活用したセルフコントロールの推進 ○あいち健康マイレージ事業の推進
ウ 高齢者の運動器の健康維持	①ロコモティブシンドロームの認知度の向上	ロコモティブシンドロームを認知している者の割合の増加	18.6%	80.0%以上	-	-	○介護予防プログラムの普及 ○愛知県版運動器の機能向上プログラム指導者養成研修の開催 ○介護予防フォーラムの開催
			平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中		
ウ 高齢者の運動器の健康維持	②足腰に痛みのある高齢者の減少	足腰に痛みのある高齢者の割合の減少(千人当たり)	男性 207人 女性 290人	男性 190人以下 女性 260人以下	-	-	○介護予防プログラムの普及 ○愛知県版運動器の機能向上プログラム指導者養成研修の開催 ○介護予防フォーラムの開催
			平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中		
エ 認知機能が低下している高齢者の把握	認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上	基本チェックリストの回収率の増加	59.1%	95.0%以上	-	-	○認知症対応人材養成研修会の開催 ○介護予防事業を活用した早期発見や予防に向けた取組の充実強化
			平成22年厚労省「介護予防事業報告」	平成34年度	H26報告にチェックリスト回収率の項目がなくなったため、直近値、データソース無し		

「健康日本21あいち新計画」目標・指標一覧表

平成28年12月末現在

A: 目標を達成、B: 策定時より改善、C: 変化なし、D: 悪化、-: 判定保留

分野	項目	指標	策定時の状況	目標値	平成28年(直近値)	進捗時点評価	平成28年		
			データソース	目標年次	データソース	ABCD-	取組状況		
オ	運動習慣改善のための人材育成	①運動習慣改善のためのボランティアの増加	「健康づくりリーダー」の養成数の増加	2,231人	3,200人以上	2,639人	B	○健康づくりリーダー登録研修会の開催 「標準コース」「アドバンスコース」「再教育研修会」	
				平成23年度末現在 総養成者数	平成34年度	平成27年度末現在 総養成者数			
		②運動習慣改善のためのボランティアを養成・活用している市町村数の増加	運動習慣改善のためのボランティアを養成・活用が十分できている市町村数の増加	15市町村	54市町村 (全市町村)	12市町村	D	○健康づくり指導者セミナーによる指導者育成 ○健康づくりリーダーバンク登録研修会関係機関連絡会の開催による人材活用の推進	
	ア	こころの健康	③介護予防推進のためのボランティアの増加	「介護予防リーダー」の養成数の増加	411人	1,000人以上	1,268人	A	○あいち介護予防リーダーの研修会の開催
					平成24年1月末総養成数	平成34年度	平成28年3月末総養成数 (平成28年度で養成研修終了)		
基本方針: (3)-③休養・こころの健康	イ	心身の疲労回復	睡眠による休養を十分取れていない者の割合の減少(20歳以上)	気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の減少	14.2%	10.0%以下	-	○健康教育・啓発リーフレット等によるこころの健康づくりの普及 ○保健所メンタルヘルス相談の実施 ○電話相談「あいちこころほっとライン365」の実施	
					平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中		
	ウ	ストレスとの付き合い	①日頃強いストレスを感じている者の減少	睡眠による休養を十分取れていない者の割合の減少(20歳以上)	20.9%	17.0%以下	-	○健康教育・啓発リーフレット等によるこころの健康づくりの普及	
					平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中		
	エ	過重労働の解消	②ゆったりとした気分で子どもと接することができる者の増加	午後10時以降に就寝する子どもの割合の減少(3歳児)	29.0%	15.0%以下	24.6%	B	○健康教育・啓発リーフレット等によるこころの健康づくりの普及
					平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成27年度愛知県「乳幼児健康診査情報」		
	オ	事業主や労働者の意識改革と労働環境の整備(ワーク・ライフ・バランスの推進)	①ノー残業デーの普及	強いストレスを感じている者の割合の減少	20.5%	14.0%以下	-	○健康教育・啓発リーフレット等によるこころの健康づくりの普及	
					平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中		
	オ	事業主や労働者の意識改革と労働環境の整備(ワーク・ライフ・バランスの推進)	①ノー残業デーの普及	ゆったりとした気分で子どもと接することができる者の割合の増加(3歳児健診)	73.6%	80.0%以上	77.0%	B	○母子保健活動、子育て支援事業を通じた相談体制の充実
					平成23年度愛知県「乳幼児健康診査情報」	平成34年度	平成27年度愛知県「乳幼児健康診査情報」		
	オ	事業主や労働者の意識改革と労働環境の整備(ワーク・ライフ・バランスの推進)	①ノー残業デーの普及	過重労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少	9.0%	6.0%以下	-	○労働者が健康を保持しながら生活時間を確保できるような環境整備の推進	
					平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中		
オ	事業主や労働者の意識改革と労働環境の整備(ワーク・ライフ・バランスの推進)	①ノー残業デーの普及	県内一斉ノー残業デー賛同民間事業所数の増加	4,348事業所	4,348事業所以上	4,928事業所	A	○仕事と生活の調和した社会の実現に向けて、定時退社等の取組を県内事業所に呼びかける「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動2016」を官民一体となって実施	
				平成24年県内一斉ノー残業デー賛同民間事業所数	平成27年度	県内一斉ノー残業デー賛同事業所数			

「健康日本21あいち新計画」目標・指標一覧表

A: 目標を達成、B: 策定時より改善、C: 変化なし、D: 悪化、-: 判定保留

分野	項目	指標	策定時の状況	目標値	平成28年(直近値)	進捗時点評価	平成28年		
			データソース	目標年次	データソース	ABCD-	取組状況		
	オ 事業主や労働者の意識改革と労働環境の整備(ワーク・ライフ・バランスの推進)	②働く人や家族を大切にしている企業の増加	ファミリー・フレンドリー企業登録数の増加 983企業	1,721企業以上	1,185企業	B	○従業員の仕事と生活の両立支援に積極的に取り組む「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」の登録促進		
			あいち仕事と生活の調和行动計画(平成24年11月末現在)	平成27年度	平成28年3月末現在				
	カ 市町村における相談体制の充実	こころの悩みや病気に関する相談支援を行っている市町村数	50市町村 平成24年愛知県「市町村実態調査」	54市町村(全市町村) 平成34年度	52市町村 平成28年度愛知県「市町村実態調査」	B	○こころの悩みや病気に関する相談窓口の情報提供と研修等による相談対応者の資質向上		
基本方針: (3)-④喫煙	ア 喫煙率の低下・受動喫煙の防止	①成人の喫煙率の減少	成人の喫煙率の減少(20歳以上)-男女	男性 28.4% 女性 6.5%	男性 17.0%以下 女性 4.0%以下	-	-	○たばこ対策推進事業による禁煙支援・治療の普及と受動喫煙防止を始めとしたたばこ対策の総合的な推進 ○世界禁煙デーに伴う、たばこ対策及び受動喫煙防止対策についての普及啓発	
				平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中			
		②妊娠中の喫煙をなくす	妊娠中の喫煙率の減少	3.3%	0%	2.5%	B		○たばこ対策推進事業による禁煙支援・治療の普及と受動喫煙防止を始めとしたたばこ対策の総合的な推進 ○妊娠届出時の保健相談の場での禁煙の助言
				平成23年度愛知県「母子保健報告」	平成34年度	平成27年度愛知県「母子保健報告」			
	③未成年者の喫煙をなくす	16~19歳の喫煙をしている者の割合の減少-男女	男性 6.5% 女性 4.8%	男性 0% 女性 0%	-	-	○市町村、学校、青少年育成者と連携した地域における防煙対策の推進 ○未成年者への販売防止措置、リスクに関する教育・啓発		
			平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中				
	④子どもの受動喫煙の機会減少	子育て中の家庭における同居家族の喫煙者割合の減少	3.4か月児健診 37.1% 1歳6か月児健診 38.6% 3歳児健診 34.8%	0%	3.4か月児健診 36.3% 1歳6か月児健診36.6% 3歳児健診 37.7%	3.4か月児健診 :B 1歳6か月児健診:B 3歳児健診 :D	○家庭での受動喫煙防止の普及啓発 ○乳幼児健診など種々の保健事業の場での禁煙の助言		
			平成23年度愛知県「乳幼児健康診査情報」	平成34年度	平成27年度愛知県「乳幼児健康診査情報」				
イ 喫煙防止対策の充実	未成年者の喫煙防止対策に取り組んでいる市町村の増加	未成年者の喫煙防止対策に取り組んでいる市町村数の増加	25市町村 平成24年愛知県「市町村実態調査」	54市町村(全市町村) 平成34年度	31市町村 平成28年度愛知県「市町村実態調査」	D	○市町村、学校、青少年育成者と連携した地域における防煙対策の推進 ○未成年者への販売防止措置、リスクに関する教育・啓発		
ウ 禁煙支援体制の充実	①禁煙治療医療機関の増加	禁煙治療医療機関数の増加	881施設 平成24年10月末現在健康対策課調べ(禁煙サポーターズ)	881施設以上 平成34年度	1,064施設 平成28年12月末現在健康対策課調べ(禁煙サポーターズ)	B	○OHP(禁煙サポーターズ)による禁煙治療医療機関の情報提供		
	②禁煙サポート薬局の増加	禁煙サポート薬局数の増加	685か所 平成24年10月末現在健康対策課調べ(禁煙サポーターズ)	685か所以上 平成34年度	598か所 平成28年10月1日現在健康対策課調べ(禁煙サポーターズ)	D	○OHP(禁煙サポーターズ)による禁煙サポート薬局の情報提供		
③禁煙相談・支援体制がある市町村数の増加	禁煙希望者の相談・支援を行っている市町村数の増加	35市町村 平成24年愛知県「市町村実態調査」	54市町村(全市町村) 平成34年度	40市町村 平成28年度愛知県「市町村実態調査」	B	○指導者養成講習会による喫煙対策を実践する指導者・普及員の養成			
④禁煙相談・支援方法の知識を有する者の増加	禁煙希望者の相談・支援方法の知識を有する者の増加	213名 平成23年度たばこ対策指導者養成講習会への延べ受講者数	1,200名以上 平成34年度	172名(計1134名) 平成27年度たばこ対策指導者養成講習会への延べ受講者数	B	○指導者養成講習会による喫煙対策を実践する指導者・普及員の養成			

「健康日本21あいち新計画」目標・指標一覧表

A: 目標を達成、B: 策定時より改善、C: 変化なし、D: 悪化、-: 判定保留

分野	項目	指標	策定時の状況	目標値	平成28年(直近値)	進捗時点評価	平成28年	
			データソース	目標年次	データソース	ABCD-	取組状況	
エ 受動喫煙防止対策の充実	①受動喫煙防止対策実施施設の増加	受動喫煙防止対策実施施設の増加	7,955施設	13,000施設以上	9,858施設	B	○HP(たばこメダス)による受動喫煙防止認定施設の提供 ○多数の者が利用する公共的な空間における受動喫煙防止対策の推進 ○受動喫煙防止対策推進研修会の開催	
			平成24年10月末現在健康対策課調べ(タバコメダス)	平成34年度	平成28年12月末現在健康対策課調べ(タバコメダス)			
	②受動喫煙防止対策に積極的に取り組んでいる市町村数の増加	受動喫煙防止対策に積極的に取り組んでいる市町村数の増加	34市町村	54市町村(全市町村)	43市町村	B	○HP(たばこメダス)による受動喫煙防止認定施設の提供 ○多数の者が利用する公共的な空間における受動喫煙防止対策の推進 ○受動喫煙防止対策推進研修会の開催	
			平成24年愛知県「市町村実態調査」	平成34年度	平成28年度愛知県「市町村実態調査」			
基本方針: (3)-⑤飲酒	ア 生活習慣病のリスクを高める飲酒の防止	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の減少	生活習慣病のリスクを高める量(一日当たり純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上)を飲酒している者の割合の減少-男女	男性 16.4% 女性 3.6%	男性 15.0%以下 女性 3.0%以下	-	-	○飲酒の健康影響や「節度ある適度な量の飲酒」など、正確な情報の提供 ○「アルコール関連問題啓発週間」におけるホームページ、ポスター等での啓発 ○アルコール関係団体の開催する研修会等への協力
			平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中			
		② 妊娠中の飲酒をなくす	妊娠中の者の飲酒割合の減少	2.3%	0%	0.6%	B	○飲酒の健康影響や「節度ある適度な量の飲酒」など、正確な情報の提供 ○妊娠届出時の相談等における胎児や母乳を授乳中の乳児への影響の教育を推進
	③ 未成年者の飲酒をなくす	16~19歳の飲酒をしている者の割合の減少-男女	男性 16.3% 女性 10.2%	男性 0% 女性 0%	-	-	○飲酒の健康影響や「節度ある適度な量の飲酒」など、正確な情報の提供 ○市町村や学校と連携した未成年者の発達や健康への影響の教育を推進 ○アルコール関連問題啓発週間での普及啓発	
			平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中			
	イ 飲酒防止対策の充実	① 未成年者飲酒防止対策に取り組んでいる市町村の増加	未成年者の飲酒防止対策に取り組んでいる市町村数の増加	9市町村	54市町村(全市町村)	22市町村	B	○飲酒の健康影響や「節度ある適度な量の飲酒」など、正確な情報の提供 ○市町村や学校と連携した未成年者の発達や健康への影響の教育を推進 ○アルコール関連問題啓発週間での普及啓発
平成24年愛知県「市町村実態調査」				平成34年度	平成28年度愛知県「市町村実態調査」			
② 妊娠中の飲酒防止対策に取り組んでいる市町村の増加	妊娠中の飲酒防止対策の取組みを行っている市町村数の増加	47市町村	54市町村(全市町村)	52市町村	B	○飲酒の健康影響や「節度ある適度な量の飲酒」など、正確な情報の提供 ○市町村や学校と連携した未成年者の発達や健康への影響の教育を推進 ○アルコール関連問題啓発週間での普及啓発		
		平成24年愛知県「市町村実態調査」	平成34年度	平成28年度愛知県「市町村実態調査」				
基本方針: (3)-⑥歯・口腔の健康	ア 歯みがき習慣の確立	歯みがき習慣の確立	保護者による仕上げ磨きがされていない幼児の割合の減少(1歳6か月児)	25.0%	10.0%以下	6.3%	A	○乳幼児期における歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発 ○フッ化物応用を始めとした乳歯から永久歯までの一貫したう蝕対策の推進
			平成22年度愛知県「乳幼児健康診査情報」	平成34年度	平成27年度愛知県「乳幼児健康診査情報」			
	イ 歯科検診の実施	年1回以上歯の検診を受けている者の増加	給食後の歯みがきを実施している施設の割合の増加(中学校)	22.5%	35.0%以上	23.5%	B	○学齢期における歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発 ○フッ化物応用を始めとした乳歯から永久歯までの一貫したう蝕対策の推進
			平成23年度愛知県「地域歯科保健業務状況報告」	平成34年度	平成27年度愛知県「地域歯科保健業務状況報告」			
	年1回以上歯の検診を受けている者の増加	年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加(30歳代)	38.3%	55.0%以上	-	-	○成人期、高齢期における歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発 ○市町村や職域における歯周病対策の推進と適正な歯科医療の提供のための環境整備	
			平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中			
年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加(70歳代)	年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加(70歳代)	57.0%	75.0%以上	-	-	○成人期、高齢期における歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発 ○市町村や職域における歯周病対策の推進と適正な歯科医療の提供のための環境整備		
		平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中				
ウ フッ化物洗口の推進	フッ化物洗口を実施している施設の増加	フッ化物洗口を実施している施設の割合の増加(幼稚園、保育所、小学校、中学校)	25.1%	40.0%以上	35.1%	B	○幼児期、学齢期における歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発 ○フッ化物応用を始めとした乳歯から永久歯までの一貫したう蝕対策の推進	
			平成23年度愛知県「う蝕対策支援事業実績報告」	平成34年度	平成27年度愛知県「う蝕対策支援事業実績報告」			

「健康日本21あいち新計画」目標・指標一覧表

A: 目標を達成、B: 策定時より改善、C: 変化なし、D: 悪化、-: 判定保留

分野	項目	指標	策定時の状況	目標値	平成28年(直近値)	進捗時点評価	平成28年	
			データソース	目標年次	データソース	ABCD-	取組状況	
エ 歯科保健体制の充実	①学童期のう蝕対策の推進	一人平均う蝕数が1.0本未満である市町村の増加(12歳児)	77.8% (42市町村)	100% (54市町村)	96.3% (52市町村)	B	○学齢期における歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発 ○フッ化物応用を始めとした乳歯から永久歯までの一貫したう蝕対策の推進 ○成人期における歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発 ○市町村や職域における歯周病対策の推進と適正な歯科医療の提供のための環境整備	
			平成23年度愛知県「地域歯科保健業務状況報告」	平成34年度	平成27年度愛知県「地域歯科保健業務状況報告」			
	②成人病の歯周病対策の推進	歯周炎を有する者の割合が25%以下である市町村の増加(40歳)	50.0% (27市町村)	100% (54市町村)	35.2% (19市町村)	D		
			平成23年度愛知県「歯周疾患検診実施状況報告」	平成34年度	平成27年度愛知県「歯周疾患検診実施状況報告」			
基本方針: (4)社会で支える健康づくり	ア 地域のつながり強化	居住地域でお互いに助け合っていると感じている者の増加	47.5%	63.0%	-	-	○保健所、市町村健康づくり技術支援事業等による市町村健康増進計画策定への助言・支援 ○各種健康情報・統計データ等のモニタリング並びに定期的な情報提供 ○あいち健康マイレージ事業の推進	
			平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中			
	イ 地域活動への主体的な参加	地域活動、ボランティア活動に主体的に関わっている者の増加	25.8%	30.0%以上	-	-		
			平成24年愛知県「生活習慣関連調査」	平成34年度	平成28年度調査中			
	ウ 市町村計画の推進と取組の充実	市町村健康増進計画の策定	市町村健康増進計画を策定している市町村数	54市町村	54市町村 (改訂・継続100%)	53市町村 (改訂・継続100%)		A
				平成24年	平成34年度	平成28年度愛知県「市町村実態調査」		
	エ 健康格差対策への取組の促進	健康格差の把握に努める市町村の増加	健康格差の把握に取り組む市町村数の増加	12市町村	54市町村 (全市町村)	31市町村 (54市町村)		B
				平成24年愛知県「市町村実態調査」	平成34年度	平成28年度愛知県「市町村実態調査」 (何らかに取り組んでいる市町村)		
	オ 企業・団体との連携の促進	企業・団体等と連携した健康づくり活動の増加	企業・団体等と連携した取組を実施している市町村数の増加	39市町村	54市町村 (全市町村)	47市町村		B
				平成24年愛知県「市町村実態調査」	平成34年度	平成28年度愛知県「市町村実態調査」		

平成28年度目標値の進捗評価状況

* 1項目で評価が複数の場合は今回判定保留

* 88項目、94指標を評価し、各評価数を計上

評価	目標の指標数及び割合	
A: 目標達成	4	4.3%
B: 策定時より改善	40	42.6%
C: 変化なし	0	0.0%
D: 策定時より悪化	9	9.6%
-: 判定保留	41	43.6%
合計	94	100%